

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272701178		
法人名	社会福祉法人恵生会		
事業所名	グループホーム三老		
所在地 (電話番号)	〒039-0103 青森県三戸郡南部町大向字仙ノ木平42番地 (電話) 0179-22-1252		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月17日	評価確定日	平成21年11月16日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 1月 5日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 15人, 非常勤 2人, 常勤換算	8.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	4,500 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(8月 25日現在)

利用者人数	17 名	男性 3 名	女性 14 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名
要介護3	5 名	要介護4	3 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢 平均	86 歳	最低	69 歳
		最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	名川病院、千葉歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

町を一望できる高台にあり、リンゴや桃などの果樹園に囲まれ恵まれた自然環境にある。玄関先にはたくさんの鉢植えの植物とともに、ほうずきの赤が季節を伝えている。事業所内は大きな窓や天窓などで自然に採光できており、やわらかな明るさに満ちている。ひとり一人に寄り添っている、職員の笑顔と、ゆったりと流れる空間に、利用者が安心して生活を楽しんでいる様子が伺われた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価の内容を全職員で検討し、よりよい業務に生かせるように、改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で取り組んでおり、自己評価したものを廊下にも掲示している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	報告したことについての意見を聞き、運営に反映できるようにしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	玄関入り口にご意見、ご要望箱を設置しているが、来訪者の活用に至っていない。職員への声かけや、職員との話し合い等で早めの対応ができています。内容については記録し、他の職員が閲覧できるようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会との交流や、中学生の慰問、事業所内行事での交流等、活発に行われている。食事に使用している野菜は、地域の農家から届けられるなど地域との交流が図られている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての事業所独自の理念について、職員で考え、見直しをするなどの取り組みを行っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時に全員で唱和する等、共有への努力が見られるが、具体的な実践に向けての取り組みが見られない。		理念を具現化することにより、新しい理念の浸透を深め、よりよい介護につなげる取り組みを期待したい。
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に加入し、行事等で交流が活発に図られている。母体施設内の行事に参加し、通所事業所利用者や交流されたり、地域の祭りに出かけている。慰問を受けたり、職場体験を受けたりと、地域の中学生との交流もみられる。地元の農家から野菜を購入するなどし、交流の場を広げている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を実施する意義を全職員で理解し、業務につなげる話し合いをしている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に定期的開催している。グループホームや家族からの要望・提案に意見を頂き、サービスの向上につなげている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	役場担当職員と連絡を密にし、運営についての意見をいただいたり、待機者の情報交換等を行っている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人で企画している研修会に参加し、伝達研修を実施し、全職員で制度の理解を深める体制をとっている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加したり、勉強会を開いたりしながら、虐待防止の理解を深めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に十分な説明を行い、疑問点や不安なことについて話していただき、理解していただく努力をしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月広報で様子を伝えているが、ひとり一人の暮らしぶりや健康状態については、状態に変化がみられた時のみの連絡になっている。</p>		<p>家族との連携を強く望んでいることから、今後利用者の生活状況を家族と共有できる取り組みを期待します。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等が意見、不満、苦情を、伝えやすいように、面会時の話し合いで要望等を伺ったり、苦情ポストの設置をして、意見等を出しやすいように工夫している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>この1年配置換えはなく、異動は必要最低限にとの努力がみられ、利用者がなじみの職員の支援を受けられるようにとの配慮が見られる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外研修への参加や、事業所内での定期的な勉強会を実施し研修を受ける機会は確保できているが、個々の職員の質の向上にむけての取り組みが曖昧になっている。		職員の質の確保や、向上に向けての育成を計画的に取り組むことを期待します。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協会に加入し、研修に積極的に参加し、情報交換しており、サービスの向上につなげている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に事業所見学を勧める等し、安心し納得してサービスを利用できるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩であるということを職員で共有できており、教えていただく場面が多くもてるように、工夫や声かけをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	理念を大きな柱に掲げて、一人ひとりの思いや希望を把握する努力をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるように本人や家族の要望を聞き、課題について職員全員で話し合い、看護師のアドバイスを取り入れるなどして作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月介護計画の遂行状況、効果等の評価を行っている。状況に変化がみられる時は職員で話し合い、見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者と家族が安心して暮らし続けていくための支援ができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医になっており、家族の代行で受診に付き添うこともあり、かかりつけ医と事業所の連携体制も構築できている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期にむけての指針を作成し、入居時に家族にも説明されている。容態悪化時は救急車で病院搬送し、診察が受けられるよう連携が取れている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉使いや対応の仕方等、お互いに気づいたことを注意し合うなどして、職員の意識の向上を図っている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの意志を尊重し、自由に過ごすように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを聞いたり、好評だったものを取り入れたりして、職員が献立を作成している。野菜の下ごしらえなど、利用者と一緒に作る機会が多く、食事を楽しんでいる。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週4日入浴できる日を設けており、好きな時に入浴できる支援ができています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	裁縫や料理、畑作業等の得意な方には、力を発揮していただけるようにセッティングし、役割を楽しむ支援をしている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺の環境が自宅に居たときの環境に類似しており、心と風景が広がっている。希望時に外に出られるように支援しており、気分転換が図られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束についての理解をし、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関に鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者の不穏な状況時等は、声がけしたり、職員同士で見守りの体制を取る等して安全面に配慮している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年に6回、利用者と一緒に避難訓練を行い、いざという時にあわてずに避難できるように取り組んでいる。また年に1回は地域の方の参加で、一緒に訓練を行うなどの協力が得られている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事チェックシートを使い、一人ひとりの摂取量の確認ができています。また、法人内の栄養士の助言を得ながら、利用者の栄養バランスが確保できるように取り組んでいます。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症予防についてのファイルはあるものの、役所からの情報が主である。</p>		<p>個々の感染症について、事業所での予防や対応についてのマニュアル作成の取り組みを期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(1)居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は、大きな窓や天窗からの柔らかな光に満ちていて、ゆったりとした時間が流れており、居心地よく安心して生活している様子がうかがわれる。玄関先には季節感をとり入れた飾り付けや、利用者や職員手作りの作品が置かれており、ほっとできる空間ができている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室からは眼下に町が見られ、果樹園等、視界に自然がいっぱい広がっている。居室内には利用者の馴染みの物や好きな物が思い思いに配置できており、暮らしやすいように工夫されている。		

 は、重点項目。